



◆◆◆災害に備えて、意識を高める一日◆◆◆

清田区防災訓練2013

いざ！という時の災害対応能力向上のため、8月31日（土）、三里塚小学校のグラウンドと体育館を使って清田区防災訓練が行われ、清田区民や市職員など約350名が参加し、里・美地区からは、約120名が参加しました。



土のう積み訓練

消火器による消火訓練



バケツリレーによる消火訓練

避難所開設・運営訓練



避難所開設から住民による自主運営組織の立ち上げまでの一連の流れを確認しました。

異常気象などによる災害も多発している為、参加者の関心は高く、中にはメモを取りながら訓練をする熱心な姿も見られました。参加された皆様お疲れ様でした。

AED訓練



AED訓練

◆◆◆あなたがお住まいの地区では、バス路線が少ないなど交通手段に不便を感じていませんか？



バス路線 意見交換会

11月9日（土）、里・美地区センターで「路線バス利用体験・意見交換会」が行われました。中央バスの車両が地区センター駐車場に実際に来ており、参加者はまず、そのバスに乗ってICカード「SAPICA」の利用方法を体験しました。

その後は、ホールで公共交通に関する講座を聞いた後、6つのグループに分かれて、バス路線や札幌市の交通網などについて、どのようにしたら便利になるか、今どんな不便を感じているかなど、日ごろ思っていることを互いに意見を出し合いました。

様々出た意見がある程度まとめて、下記に掲載してみました。これを機会に皆さんで清田区の公共交通網について考えてみませんか？

◆ 平岡公園東・里塚緑ヶ丘方面から清田区役所へ行くバスの路線がない。清田区民なのに、清田区役所へ行きにくい！

◆ 美しが丘方面から新札幌へ行くバスの路線がない。一度、大谷地へ行き、地下鉄で新札幌へ行かなくてはならず、時間のロスが多い！新札幌・江別方面または、JR新札幌から小樽・あいの里方面の学校へ通う学生など、大谷地行きバスに遅れが生じると登校に間に合わない！

◆ 「SAPICA」をどうして全国共通で使えるICカードにしないのか？ ICカードを利用している他都市でも利用できた方が使い勝手がいい。他の利用サービスよりも、交通機関で使用するカードとしての利便性を向上させることの方が先決だと思う！

◆ 美しが丘・平岡公園東地区は20年前に比べて、劇的に人口が増えたのにバスの路線はあまり変化がないように思う！

◆ イオンや三井アウトレットパークなど大きな商業施設ができると、すぐに路線延伸や路線変更をするが、日常的に不便を感じている住民が、バス会社にいくら要望しても中々実現してはくれない！ ◆新札幌→各所→羊ヶ丘通→各所→新札幌などの循環バスがあると便利！

◆ 地下鉄は、清田区まで延伸してこないのか？東豊線をただ単純に清田区へ延伸するのではなく、札幌市をぐるっと回するような環状線にして、南北線・東西線とも端々でつなげるなど、もっと未来を見据えた利便性の高い札幌市の交通網の計画を立てるべきである！

上記のように、地区ごとにそれぞれ皆さん多くの不便を感じているようです。高齢化し自家用車を手放した時には、公共交通の重要性が一層高くなります。路線延伸などはバス会社同士のテリトリーの問題などもあるので、清田区役所としても中央バス・JRバスに対して、住民がよりバスを利用しやすくなるように、働きかけを行って欲しいなどの意見もありました。

また、「SAPICA」利用体験の後、中央バスの方は意見交換会に参加せず帰ってしまい、中央バスの方に直接住民の思いを聞いてもらえと思って参加した方がほとんどだったので、参加者たちは「こんな意見交換会なら参加した意味がない」など、不満を感じていた方が多かったようでした。



第15号 2013.12.1 発行

里塚・美しが丘
地区町内会連合会

札幌市清田区里塚2条5丁目1-1

里塚・美しが丘地区センター内

電話 011-884-1210

里・美地区ホームページアドレス

<http://www4.ocn.ne.jp/~satomi0/>





～交通事故死ゼロ641日！交通安全街頭啓発



夏の街頭啓発

7月18日(木)、国道36号ブックオフ美しが丘店付近で約160名が参加し、ドライバーに向けて交通安全を呼びかける街頭啓発を行いました。

同日、里塚緑ヶ丘町内会では、厚別東通にて行った街頭啓発に約40名が参加し、また、16日(火)にはライブヒルズ町内会の方約30名が参加し、平岡公園小学校前付近でドライバーと子どもたちなどの歩行者に交通安全の呼びかけを行いました。

秋の街頭啓発

9月24日(火)、羊ヶ丘通のフードDValue美しが丘～ジギスカンのかねひろ付近で約80名が参加し街頭啓発を行い、羊ヶ丘通町内会「羊丘会」の方々の手作りマスコット人形約120個をドライバーに手渡し、スピードダウンを呼びかけました。



また、厚別東通では、里塚緑ヶ丘町内会の方約30名が、手旗を持って交通安全の呼びかけを行いました。

冬の交通安全運動総決起集会・街頭啓発

11月14日(木)、清田区役所前市民交流広場で「清田区冬の交通安全運動総決起集会」が開催され、清田区災害防止協力会、各地区町内会連合会など14団体の561名が参加しました。新谷区長や豊平警察署の高橋署長が「過信せずに路面状況を見た運転が大切」「地域においても交通安全を呼び掛け、一日でも長く交通事故死ゼロを継続しましょう」など冬期間の交通安全と清田区交通事故死ゼロ641日(10月30日現在)のさらなる記録更新を呼び掛けました。

集会後、参加者は国道36号西友清田店付近に移動し、車道沿いに整列して街頭啓発を開始。区マスコットキャラクターの「きよっち」も一緒に、「スピードダウン」「シートベルト着用」などと書かれた黄色い旗を手に、ドライバーに安全運転を呼びかけました。

雨模様の中にも楽しくウォーキングゲーム&ウォーキング

9月1日(日)朝、小雨が降っていて中止にするか決行するか迷われるような天候の中にも、47名の方々が集まったので、コースを縮小し開催することとなりました。



小雨の中、がんばって歩きました

平岡南公園をスタートし、平岡公園遊歩道などをウォーキングし、日の丸町内会館にゴールし、茹でたのトウモロコシをいただきました。いつもは、中間点の公園で行う恒例の「ビンゴ大会」は、あいにくの天候だったので、今回は日の丸会館に着いてから行いました。

一つとして同じ品物がない景品の中から「ビンゴ」になった人から景品をいただけるので、数字が読み上げられるたび歓声が上がり、ため息がもれたり、誰かが「ビンゴ」を達成するたびに自分の狙っている景品がなくなってしまうか心配で、そわそわ立ち上がりたり叫んだりする子どもたちの表情が、素直でとても可愛らしく思いました。

今年度は、悪天候の中たくさんの方に参加していただきありがとうございました。お疲れ様でした。

来年度は平成26年9月7日(日)に、スタートもゴール地点も里・美地区センターに変更し開催する予定となっております。



ビンゴ大会で盛り上がる子どもたち

来年もぜひ、たくさんの方に参加していただけるようお願いしております。



小本恵子さんによる講演の様子



真栄中・平岡緑中学生徒会の生徒も出席し、見守りへのお礼の言葉などがありました

会の最後には、今年度の標語「笑顔でつなぐ地域の『和』」が発表され、参加者は今後の更なる活動の発展に向け、決意を新たにしました。

この日は、町内会や少年補導員、警察署、学校、区役所などの関係者らが出席しました。始めに、平岡緑中と真栄中の生徒から、日頃の見守りに対するお礼の言葉と、リングブルやベルマークの回収などの活動報告と協力依頼がありました。平岡南小の高橋校長からは、「自分の身は自分で守る、挨拶をしっかりとる、元気よく遊ぶ」など、日頃教えていることや、地域活動への参加状況の報告と、今後の活動への更なる理解と協力をお願いがありました。

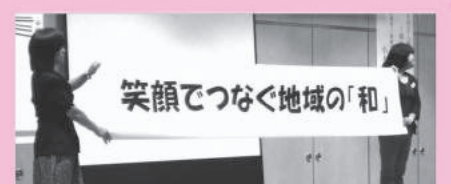
続いて、法務省人権擁護委員の小本恵子さんの「日常的に人権を考えてみましょう」ということと「和」をテーマにした講演がありました。いじめは見えて見ぬふりをするグループが行動を起こすことによってなくなるのではないかと、友達や家族、地域での関わり合いの中で信頼関係が築かれ、人権が生まれるとお話していました。

区少年育成指導員の佐藤加代子さんは、子どもたちと気軽に挨拶をしたり、ボランティア活動を通して互いに認め合い、支え合うことが重要であると言っていました。

7月8日(月)、里・美地区センターにて、「第14回子どもを見守る会」が開かれました。

この日は、町内会や少年補導員、警察署、学校、区役所などの関係者らが出席しました。始めに、平岡緑中と真栄中の生徒から、日頃の見守りに対するお礼の言葉と、リングブルやベルマークの回収などの活動報告と協力依頼がありました。平岡南小の高橋校長からは、「自分の身は自分で守る、挨拶をしっかりとる、元気よく遊ぶ」など、日頃教えていることや、地域活動への参加状況の報告と、今後の活動への更なる理解と協力をお願いがありました。

笑顔でつなぐ地域の「和」





今年も盛り上がりました！
抽選会とバナナのたたき売り！



家族連れで食事や遊びを楽しみました

第6回 秋まつり



きよっちも応援に来てくれました



開会式 マーチングバンドの演奏



野菜販売は大盛況！

9月29日(日)、朝降っていた雨も準備のころには上がり、その後は幸いに好天に恵まれ、第6回秋まつりが開催され、会場の里・美地区センターには約1,000名の地域住民が訪れました。

焼き鳥、焼きそば、うどん、カレーライス、わたあめ、ポップコーン、ビール、ジュース、野菜果物などの販売のほか、くじ引き、型抜き、ヨーヨー釣りや児童会館の子どもたちが担当する各種ゲームコーナー、交通安全クイズ、子ども安全教室、AED講習、消防放水体験、煙道くぐり、はしご車試乗の体験など盛りだくさんのイベントがあり、どのコーナーもとても賑わっていました。

最後にはバナナのたたき売りとお楽しみ抽選会で盛り上がりしました。

当日は、約220名のスタッフがまつりを運営しました。また、清田消防署、清田区交通安全運動推進委員会、豊平警察署、北修学園さとづか幼稚園、里・美地区5児童会館、日北自動車工業(株)など、協力団体の皆様、ありがとうございました。



館内のお食事処は
お客さんでいっぱい！



屋外販売也大盛況！



ストラックアウトにもぐらたたきに射的などその他にもたくさんの遊びコーナーや体験コーナーが充実してました！



ポップコーン美味しそうだね！



今年も大人気のはしご車搭乗体験 かっこいいぞ！未来の消防士さん。



焼きとり班、焼きそば班、女性部いつも美味しいお食事をありがとうございます！



環境衛生部研修

7月4日(木)、環境衛生部研修が行われ、各町内会・自治会から24名が参加しました。

環境保全とバリアフリーをメインテーマに掲げて平成23年に施設をリニューアルした藻岩山を訪れました。ロープウェイとミニケーブルカー(名称「もーりすカー」)を乗り継いで山頂駅まで行き、展望台から市内を一望しました。これらの施設で使っている電力の一部を太陽光発電や風力発電で作ったり、観光自動車道もリニューアル前より短くしたりするなど、自然環境への影響を減らす取り組みが行われています。見学後、アサヒビールロイン亭平岡店で昼食をとり、交流を深めました。



札幌市社会福祉協議会会長表彰

里・美地区社会福祉協議会が多年にわたる社会福祉活動の功績を認められ札幌市社会福祉協議会会長表彰を受け、7月3日(水)、札幌市民ホールで行われた第36回札幌市社会福祉大会において、大形会長が表彰状を受け取りました。



第36回 札幌市社会福祉大会

健康保持・日帰りバス旅行

7月16日(火)、健康保持・日帰りバス旅行が開催されました。ひとり暮らしのお年寄りなど66名が参加し、南区真駒内にある札幌市保養センター「駒岡」に行きました。参加者全員が大広間で昼食をとり、その後は各自が自由行動となり、入浴、カラオケ、散策などして楽しいひと時を過ごしました。



公共施設等体験見学

9月30日(月)、公共施設等体験見学が行われました。今後の福祉活動に役立てることを目的に、福祉推進員と運営委員36名が参加し、中央区にある札幌市消費者センターと北海道警察本部を見学しました。消費者センターでは悪徳商法の手口と対処法などを学び、北海道警察本部では通信指令室や交通管制センターについて説明を受けました。



介護予防に関する勉強会

11月29日(金)、地区センターで介護予防に関する勉強会が開催され、42名が参加しました。

最初に、清田区第2地域包括支援センターの芦崎祐公センター長による「ボケのようではけじゃない」の講話があり、その後、区役所、区社会福祉協議会、介護予防センター、第2地域包括支援センターから、ゴミのさわやか収集、福祉除雪、高齢者配食サービス、介護保険サービスについての説明と困った時の相談窓口の紹介がありました。



福祉のまち推進センターより



